

学生確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	・・・	p. 1
① 学生確保の見通し	・・・	p. 1
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	・・・	p. 3
(2) 人材需要の動向等社会の要請	・・・	p. 4
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・・・	p. 4
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	・・・	p. 4

学生確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生確保の見通し

ア 定員充足の見込み

医療科学研究科看護学専攻（修士課程）の入学定員については、全国の看護系大学院及び近隣の競合大学院の入学状況（資料 1、資料 2）及び本学の教員組織、校地、校舎等の施設、設備等を総合的に検討し、長期的かつ安定的に学生を確保できる適正な規模として入学定員を 3 人に設定した。

学生確保の見込みについては、本学の学部生による進学に関するアンケート調査（資料 3）で「卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい」と回答した者が 12 名（14.5%）だったこと、現職看護師による進学に関するアンケート調査（資料 4）で「進学したい」が 1 名（3.4%）、「将来的には進学したい」が 6 名（20.7%）だったこと、病院・施設等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査（資料 5）で現職の看護師が働きながら大学院で学ぶことを「大いに推奨する」と回答した病院・施設が 19 件（36.5%）あったことから、現職の看護師及び本学の卒業生の入学が見込めるため、長期的かつ安定的に学生が確保できると判断する。

イ 定員充足の根拠となるデータの概要

資料 1 私立大学院の看護学研究科修士課程の入学志願動向

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」（平成 26～30 年度）から、私立大学院の看護学研究科修士課程の過去 5 年間の志願動向をまとめた。

看護学研究科修士課程については拡大傾向にあり、研究科数（36→57）、入学定員（414 名→606 名）、志願者数（436 名→592 名）、入学者数（329 名→466 名）のいずれも増加している。

ただし、平成 30 年度の 1 研究科当たりの入学定員は 10.6 人、同じく 1 研究科当たりの入学者数は 8.2 人であるため、理・工学系の研究科の修士課程と比較すると規模が小さい。したがって、本専攻の入学定員についても適切な規模を検討する必要がある。

資料 2 本学の近隣の競合大学院修士課程の入学志願状況

本学（東京都足立区）の近隣である東京都の私立大学院の看護学研究科又は看護学専攻について、過去3年間の入学志願状況をまとめた。

入学定員は、5名～32名であり、半数以上が10名以下である。

平成30年度に入学定員を充足しているのは3校である。

したがって、本学の入学定員についても適切な規模を検討する必要がある。

資料3 進学に関するアンケート調査①（学部3年生対象）

平成30年1月に、本学の医療科学部東京看護学科の3年生を対象に、医療科学研究科看護学専攻に対する進学意向アンケート調査を実施したところ、83名から回答を得た。

問2で、大学卒業後の希望進路について質問したところ、78名（94.0%）が「看護師として病院・施設等に就職」と回答し、「大学院に進学」と回答したのは1名（1.2%）だった。

しかしながら、問4で医療科学研究科看護学専攻への進学意欲を質問したところ、「卒業後すぐに進学したい」と回答した者はいなかったが、「卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい」と回答した者が12名（14.5%）いた。

したがって、学部を卒業後すぐに大学院に進学するニーズは低いが、看護師として実務経験を積んだ後に進学を希望するニーズが高いことが分かった。

資料4 進学に関するアンケート調査②（現職看護師対象）

平成30年1～2月に、本学の医療科学部東京看護学科を卒業し看護師として勤務している者を対象に、医療科学研究科看護学専攻に対する進学意向アンケート調査を実施したところ、29名の看護師から回答を得た。

問4で医療科学研究科看護学専攻への進学意欲を質問したところ、「進学したい」が1名（3.4%）、「将来的には進学したい」が6名（20.7%）だった。

したがって、計7名（24.1%）が進学に対して意欲を示していることが分かった。

資料5 人材需要等に関するアンケート調査（病院・施設等対象）

平成30年1～2月に、本学の医療科学部東京看護学科の実習に協力頂いている病院・施設等を対象に、医療科学研究科看護学専攻に対する人材需要等に関するアンケート調査を実施したところ、52件の病院・施設等から回答を得た。

問 2 で、現職の看護師に、働きながら大学院で学ぶことを推奨するか質問したところ、「大いに推奨する」が 19 件 (36.5%)、「どちらかと言えば推奨する」が 14 件 (26.9%) だった。したがって、これらを合計すると 6 割以上 (33 件、63.5%) の病院・施設等が、現職の看護師に働きながら大学院で学ぶことを推奨していることが分かった。

また、問 3 で医療科学研究科看護学専攻を修了した看護師を採用したいか質問したところ、「採用したい」が 17 件 (32.7%)、「採用を検討したい」が 21 件 (40.4%) だった。したがって、これらを合計すると 7 割以上 (38 件、73.1%) の病院・施設等が医療科学研究科看護学専攻を修了した看護師に対して採用意欲を持っていることが分かった。

ウ 学生納付金の設定の考え方

医療科学研究科看護学専攻の学生納付金については、本学の既設の研究科及び近隣の競合大学院の学生納付金 (資料 6) を参考に、適切な金額を設定した。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学大学院では学生確保に向けた取組を次の通り行っており、以降も継続してこれらの取組を実施していく方針である。

ア オープンキャンパス

本学では毎年、オープンキャンパスをキャンパス毎に開催している。平成 30 年度は、千住キャンパスで 7 回、東京西キャンパスで 6 回開催した。

イ ホームページ

本学のホームページは誰にでも見やすく分かりやすい構成となっている。また、何度も本学のホームページを見たくなるように、お知らせ、ニュース、イベント情報、各学部学科・研究科のページの更新速度を上げるよう全学をあげて取り組んでいる。さらに、スマートフォン向けのサイトの充実を図り、受験希望者向けに利便性の向上を図っている。

ウ 広報紙

大学総合情報誌、分野別情報誌や入学試験情報誌を中心に掲載を行っている。また、受験希望者の目に触れやすい WEB 媒体にも力を入れている。学部も含めて約 50 媒体で本学の広報を行っている。なお、看護師会の広報紙及び学術誌にも掲載し、社会人 (現職看護師) に向けた広報を強化する。

エ 広告

受験希望者のみならず多くの方に本学の名を広めるべく、SNS 広告、看板広告を行っている。看板広告は、北千住駅・上野原駅・山梨市駅（本学キャンパスの最寄駅）を中心とした駅や、ターミナル駅に乗り入れている路線で展開している。

オ 教職員による病院・施設等の訪問

医療科学部東京看護学科の実習先を中心とした病院・施設に本学の教職員が訪問し、現職の看護師に向けた広報活動を行う。

カ 定員未充足（定員超過率 0.7 倍未満）の学科について

定員超過率 0.7 倍未満となっている医療科学部医療福祉学科については、学生確保のために次の対策を実施してきた。

- ①学科の教員が在学生と一緒に在学生の母校を訪問
- ②本学主催の学校説明会への参加
- ③オープンキャンパスにおける学科のアピールのために学科で独自の広報 DVD の作成
- ④学科独自のホームページの作成

入学生は、平成 28 年度が 31 名、平成 29 年度が 37 名、平成 30 年度が 48 名と増加しているが、定員充足のために適正な入学定員の見直しを行うこととした。平成 30 年度に収容定員変更届出を提出し、平成 31 年度の入学定員を 80 名から 50 名に変更した。現在のところ、平成 31 年度入学者数は、52 名の見込みである。

（2）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

【医療科学研究科看護学専攻の目的】

本看護学専攻は、医療科学研究科の目的に則り、生命の尊厳を基盤とし、看護学を実践的・創造的に発展させ、複雑化・高度化している医療・社会環境の中で、多様化するニーズに対応できる看護分野における高度な専門性を兼ね備えた実践者、管理者、教育者の育成を目指している。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

日本は、2025年問題に向けて地域における質の高い医療の確保とその基盤整備、医療機能の分化・連携、在宅医療の充実が喫緊の課題となり、都道府県では「地域医療構想」を策定し推進している。つまり、医療に関しては、急性期から終末期まで、患者の状態に応じた適切な医療の提供を推進し、地域においては効果的かつ効率的に医療を提供するための体制を整備し、患者のQOLに応じた生活を送ることができるよう支援していく時代へと変貌している。さらに「超少子・超高齢・多死社会」に向かっている日本は、「地域包括ケアシステム」の深化・推進が求められ、地域共生社会の実現に向け、取り組みが行われている一方で、「多死社会」の到来に向け、医療施設の整備のみならず、医療従事者等に対する倫理的教育の必要性も課題となっている。

また、本学千住キャンパスが所在する足立区は、総人口9,421,085人であり、高齢化率は22.9%と東京都内3番目の高齢化率である（平成25年）。加えて、生活保護率においても、都内では台東区に次ぐ高い保護率であり、周辺区の荒川区、葛飾区においても保護率は高値である。高い高齢化率や高い生活保護率の問題は、疾病との関連が強く、キャンパス周辺区の住民は医療問題を抱えている住民が多い地域といえる。

一方、一人当たりの病床数では、平成25年3月改定東京都保健医療計画によると、区東北部地域（足立区・荒川区・葛飾区）の人口10万人あたりの病床数（777.1）と一般診療所率（69.3）ともに東京都内で低値であり、医師、看護師従事者数においても都内低値である。区東北部地域においては、高齢者を含む疾病を抱えている住民が多いにも関わらず、医療施設、医療従事者も少ない地域であるといえる。

上記のように、大学所在区および周辺区は、急性期、回復期、慢性期までの患者に対して、より良質な医療サービスを受けられる体制づくりが喫緊の課題である。

このような地域において、地域の医療の質向上に寄与できる高度専門職業人としての看護師養成を本専攻において行うことは、重要な役割である。

厚生労働省「平成28年衛生行政報告例」によれば、就業看護師の人数は、平成18年度の811,972名から、10年間で337,425名増加し、平成28年には1,149,397名と急激に増加している（資料7）。しかしながら、本学が所在する東京都の人口10万人当りの就業看護師数は769名であり、全都道府県で5番目に少ない（資料8）。

中央教育審議会「新時代の大学院教育—国際的に魅力のある大学院教育の構築に向けて—答申」（平成17年9月5日）によれば、「看護学系・医療技術系分野は特に実践性が求められることから、いずれのプログラムにおいても、専門職業人としての一定の実務経験を経てから入学させることが望ましい」と提言されており、本学の現職看護師を受け入れる方針はこの提言に合致する。

公益社団法人日本看護協会が平成28年に文部科学省に提出した「看護職の人材育成に関

する要望書」では、「教育者・研究者や高度専門職業人の育成等に向けて、大学院修士課程、博士課程の積極的な設置を推進されたい」と看護系大学院の必要性が述べられている。

平成 30 年 1～2 月に、本学の医療科学部東京看護学科の実習施設として協力頂いている病院・施設等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査(資料 5)を実施したところ、52 件の病院・施設等から回答を得た。

問 2 で現職の看護師に働きながら大学院で学ぶことを推奨するか質問したところ、「大いに推奨する」が 19 件 (36.5%)、「どちらかと言えば推奨する」が 14 件 (26.9%) だった。したがって、これらを合計すると 6 割以上 (33 件、63.5%) の病院・施設等が、現職の看護師に働きながら大学院で学ぶことを推奨していることが分かった。

また、問 3 で医療科学研究科看護学専攻を修了した看護師を採用したいか質問したところ、「採用したい」が 17 件 (32.7%)、「採用を検討したい」が 21 件 (40.4%) だった。したがって、これらを合計すると 7 割以上 (38 件、73.1%) の病院・施設等が医療科学研究科看護学専攻を修了した看護師に対して採用意欲を持っていることが分かった。

以上のように、病院・施設等を対象としたアンケート結果からも本研究科の養成する人材像が人材需要に合致していると言える。

以上から、本学の医療科学研究科看護学専攻設立は地域及び社会の要請であり、人材需要の動向を踏まえたものである。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

- 【資料 1】 私立大学院の看護学研究科修士課程の入学志願動向
- 【資料 2】 本学の近隣の競合大学院修士課程の入学定員及び入学者
- 【資料 3】 帝京科学大学大学院医療科学研究科看護学専攻
進学に関するアンケート調査①（学部3年生対象）
- 【資料 4】 帝京科学大学大学院医療科学研究科看護学専攻
進学に関するアンケート調査②（現職看護師対象）
- 【資料 5】 帝京科学大学大学院医療科学研究科看護学専攻
人材需要等に関するアンケート調査（病院・施設対象）
- 【資料 6】 近隣の看護系大学院修士課程の学費
- 【資料 7】 就業看護師の年次推移
- 【資料 8】 都道府県別 人口 10 万人当りの就業看護師数

【資料1】 私立大学院の看護学研究科修士課程の入学志願動向

区分	年度	集計 研究科数	入学定員 A	志願者 B	入学者 C	志願倍率 B/A	入学定員 充足率 C/A
看護学研究科 (修士課程)	平成26年度	36	414	436	329	1.05	79.47%
	平成27年度	43	480	535	406	1.11	84.58%
	平成28年度	46	517	471	385	0.91	74.47%
	平成29年度	50	537	551	420	1.03	78.21%
	平成30年度	57	606	592	466	0.98	76.90%

出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」(平成26～30年度)

【資料2】 本学の近隣の競合大学院修士課程の入学定員及び入学者

大学院	研究科 専攻	課程	所在地	入学定員			入学者数			充足率(入学者数/入学定員)			備考
				H28年度	H29年度	H30年度	H28年度	H29年度	H30年度	H27年度	H28年度	H30年度	
上智大学 大学院	総合人間学研究科 看護学専攻	修士	東京都 新宿区	9	9	9	2	2	1	22.2%	22.2%	11.1%	入学者数未記載の ため合格者数を記 載
聖路加国際大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 中央区	32	32	32	36	45	27	112.5%	140.6%	84.4%	
帝京大学 大学院	医療技術学研究科 看護学専攻	修士	東京都 板橋区	10	10	10	2	2	1	20.0%	20.0%	10.0%	
東京医療保健大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 目黒区	30	30	30	31	30	29	103.3%	100.0%	96.7%	
東京慈恵医科大学 大学院	医学研究科 看護学専攻	修士	東京都 板橋区	10	10	10	10	9	11	100.0%	90.0%	110.0%	
東京女子医科大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 新宿区	16	16	16	17	19	19	106.3%	118.8%	118.8%	
東邦大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 大田区	30	30	30	5	8	7	16.7%	26.7%	23.3%	
日本赤十字看護大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 渋谷区	30	30	30	30	30	30	100.0%	100.0%	100.0%	
武蔵野大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 西東京市	10	10	10	4	5	5	40.0%	50.0%	50.0%	
杏林大学 大学院	保健学研究科 看護学専攻	修士	東京都 三鷹市	7	7	7	13	11	13	—	—	—	入学者数は保健学 研究科の合計値
東京有明医療大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 江東区	5	5	5	0	0	3	0.0%	0.0%	60.0%	

出典：各大学のホームページ、大学ポータル(平成31年2月現在)

**【資料3】 帝京科学大学大学院医療科学研究科看護学専攻
進学に関するアンケート調査①(学部3年生対象)**

調査期間:平成30年1月

調査対象: 帝京科学大学医療福祉学部東京看護学科の3年次に在籍している者

調査方法: 設置構想を記載した書面とともにアンケート用紙を配布し、回答を依頼した。無記名式。

回収件数: 83件

問1 あなたの性別をお答えください。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	男性	8	9.6%
2	女性	75	90.4%
	無回答	0	0.0%
	計	83	100.0%

問2 大学卒業後の希望進路についてお答えください。※複数回答可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	看護師として病院・施設等に就職	78	94.0%
2	助産師・保健師・養護教諭養成所へ進学希望	12	14.5%
3	大学院への進学希望	1	1.2%
4	その他	0	0.0%
	無回答	1	1.2%
	回答者数	83	100.0%

問3 看護師が大学院で学ぶことには、どのような意義があると思いますか。※複数回答可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	高度な専門知識と技術を身につけることができる。	52	62.7%
2	学位を取得し、将来は教育者・研究者を目指すことができる。	48	57.8%
3	自分の興味がある分野について深く研究することができる。	59	71.1%
4	看護師のリーダーとして臨床の現場で活躍することができる。	55	66.3%
5	その他	0	0.0%
	無回答	2	2.4%
	回答者数	83	100.0%

問4 帝京科学大学 大学院 医療科学研究科 看護学専攻(仮称)に進学したいと思いますか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	卒業後すぐに進学したい。	0	0.0%
2	卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい。	12	14.5%
3	どちらとも言えない。	36	43.4%
4	進学したいとは思わない。	35	42.2%
	無回答	0	0.0%
	計	83	100.0%

【資料4】 帝京科学大学大学院医療科学研究科看護学専攻
進学に関するアンケート調査②(現職看護師)

調査期間: 平成30年1月～2月

調査対象: 帝京科学大学医療科学部東京看護学科を卒業した看護師

調査方法: 設置構想を記載した書面とアンケート用紙を郵送し、回答を依頼した。無記名式。

回収件数: 29件

問1 あなたの年齢、性別、お住まい(都道府県)をお答えください。

【年齢】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	22歳	1	3.4%
2	23歳	14	48.3%
3	24歳	13	44.8%
4	25歳	1	3.4%
	無回答	0	0.0%
	計	29	100.0%

【性別】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	男性	5	17.2%
2	女性	24	82.8%
	無回答	0	0.0%
	計	29	100.0%

【居住地】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	埼玉県	2	6.9%
2	千葉県	7	24.1%
3	東京都	14	48.3%
4	神奈川県	4	13.8%
5	山梨県	1	3.4%
6	静岡県	1	3.4%
	無回答	0	0.0%
	計	29	100.0%

問2 看護師としての経験年数をお答えください

番号	選択肢	回答数	構成比
1	1年未満	14	48.3%
2	1年～2年未満	14	48.3%
3	2年～3年未満	1	3.4%
	無回答	0	0.0%
	計	29	100.0%

問3 看護師が大学院で学ぶことには、どのような意義があると思いますか。※複数回答可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	高度な専門知識と技術を身につけることができる。	15	51.7%
2	学位を取得し、将来は教育者・研究者を目指すことができる。	19	65.5%
3	自分の興味がある分野について深く研究することができる。	22	75.9%
4	看護師のリーダーとして臨床の現場で活躍することができる。	5	17.2%
5	その他	0	0.0%
	無回答	1	3.4%
	回答者数	29	100.0%

問4 帝京科学大学 大学院 医療科学研究科 看護学専攻(仮称)に進学したいと思いますか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	進学したい	1	3.4%
2	将来的には進学したい	6	20.7%
3	どちらとも言えない。	17	58.6%
4	進学したいとは思わない。	5	17.2%
	無回答	0	0.0%
	計	29	100.0%

問5 大学院の講義は、月曜日から土曜日に開校する予定ですが、開始時間についてご希望がございましたらご記入ください。

番号	回答
1	家庭を持つ場合も考え、開始時間は通常の9:00～より遅い方が通いやすいです
2	夜間であれば18～19時の開始、土曜日などは朝から開始や16時からなど半日位が良いと思います。
3	10:00～
4	17:00～
5	夜間および土曜日を希望
6	9:00～12:00 19:00～22:00
7	勤務日程が月末に出るため全く分からない
8	働きながら授業も受けられるよう、夜間もあると良いと思う
9	平日は17時～18時開始、土曜は1限からが働きながら通えると思います
10	9時から
11	19:30前後
12	午後
13	10:00

※上記の13件の回答を得た。

【資料5】 帝京科学大学大学院医療科学研究科看護学専攻
人材需要等に関するアンケート調査(病院・施設対象)

調査期間：平成30年1月～2月

調査対象：帝京科学大学医療科学部東京看護学科の実習施設として協力頂いている病院・施設等

調査方法：設置構想を記載した書面とアンケート用紙を郵送し、回答を依頼した。無記名式。

回収件数：52件

問1 貴施設について教えてください。

【施設種類】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	病院・クリニック	15	28.8%
2	老人福祉施設	10	19.2%
3	その他	24	46.2%
	無回答	3	5.8%
	計	52	100.0%

【所在地】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	埼玉県	3	5.8%
2	千葉県	2	3.8%
3	東京都	38	73.1%
	無回答	9	17.3%
	計	52	100.0%

【看護師の人数】

番号	回答	回答数	構成比
1	0人	2	3.8%
2	1～10人	26	50.0%
3	11～50人	8	15.4%
4	51～100人	3	5.8%
5	101～300人	5	9.6%
6	301人以上	4	7.7%
	無回答	4	7.7%
	計	52	100.0%

問2 現職の看護師に、働きながら大学院で学ぶことを推奨しますか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	大いに推奨する。	19	36.5%
2	どちらかといえば推奨する。	14	26.9%
3	どちらとも言えない。	16	30.8%
4	どちらかといえば推奨しない。	2	3.8%
5	全く推奨しない。	1	1.9%
	無回答	0	0.0%
	計	52	100.0%

問3 帝京科学大学大学院 医療科学研究科 看護学専攻(仮称)を修了した看護師を採用したいですか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	採用したい。	17	32.7%
2	採用を検討したい。	21	40.4%
3	どちらとも言えない。	12	23.1%
4	採用しない	2	3.8%
	無回答	0	0.0%
	計	52	100.0%

問4 帝京科学大学大学院 医療科学研究科 看護学専攻(仮称)に対してご意見・ご要望等があればお書き下さい(問2～問3でご回答頂いた理由などを含め)。

番号	回答
1	高度専門職の地域における育成、確保の観点から、特に地域包括現職看護師の大学院での研究従事について推奨したいと思います。(修了者の採用も同様です)
2	問2について:学ぶ機会があれば学びたいのではないかと思います。しかも、夜間・土曜日での開講科目ですので、職場(家庭も)の協力があれば看護師本人にとって重荷にならないで受けられるのではないのでしょうか。以前看護師の学校へ通う人がいましたが、職場と家庭の協力があつたからだだと思います。(一番は本人の意思だと思いますが)。 問3について:必要枠があればぜひ採用したいです。大学院を出た看護師の配置をしなければならない状況があれば、引く手あまたなのですが、看護師育成の機関などへいかれてしまうのでしょうか。
3	都内のキャンパスで有れば当院からも行かせたい。週末授業、オンデマンドなど工夫してもらいたい
4	地域包括ケアセンターであるので、役職経験のあるNs、PHNを採用したいと考える。また、医療法人であり、Hp、CC、老健、デイサービス、通りハ等にも看護師が必要であるので、Ns採用は常に考えている。ありがとうございました。
5	ご活躍を期待しています。
6	問2の働きながら学ぶ環境は経済的に負担軽減になるため、取り入れていただきたい。臨床での技術、知識は研究によるものであると考えます。貴校におかれましては優れた人材育成と発展をご祈念いたします。
7	外来看護—外来に看護師はいるのでしょうか？病院によってはいらぬような気がすることがあります。定期的に来院していたPtが来なくなったり、爪が切っていないかったり、身なりが不潔になっていたり、そういう変化をとらえているのでしょうか？入院にも外来、訪問看護、施設にも看る目を育てていただきたいと思います。
8	特にありません。日ごろ実習などで接する機会がないので良く分かりません。ただ、広い視点でPtを看れる看護師は大歓迎です。
9	貴校が育成を目指す分野は実践が前提で様々な病状を抱えた地域の方々に地域に密着した様々なレディネスの看護職をはじめとする多職種がサービスを提供しています。高度な知識と技術に加えてどんな状況にもフレキシブルに対応でき、かつ、研究や教育活動もやりつつ現場のチームケアの実践ができる方をたくさん育成して頂きたいと思います。
10	現在働きながら大学院で学ぶ職員は非常勤・常勤含め複数おります。キャリアアップ、キャリアデザインのことを考えれば経済的支援は難しいにしても可能な限り支援はしています。臨床のレベルが少しでも上がることを願って多協をしていきます。
11	修士を取ればどう違うのかを把握しておりません。ただ、今春から優秀な看護師が大学院進学のため休職することが決まっており現場は痛手を感じております。
12	訪問看護ステーションでの実習の機会を増やして欲しいと思いました。
13	②と③で迷いました。なぜなら、学習ありきではなく、現場で活躍するに当たり必要で有った場合(本人が学ぶことで、その先に行くこと、活躍する目的が見えている)に感じています。社会人が学ぶ意味を本人がみつけないければ単に資格だけになり、修士・博士を持っていても協調性・柔軟性に乏しい方も存在すると思っていますからです。 問3に関して:上記の理由を踏まえ、個人を見て採用を判断しますので修了しているか否かは情報の一つにすぎないからです。 看護師が自らの学びを深めるために進学することには賛成です。様々な大学で学生獲得に苦労されているようなので、他大学とは異なる視点や教育体制(長期履修制度や遠隔学習)を活用しなければ2年での修了は表面的な学びに留まるでしょう。就学しながらの学習は時間的にも容易ではなく、社会人の学び続ける環境に力をいれて頂ければと思います。
14	施設の場合、医師が常駐していないことを理解して業務に当たれるかが問題。包括の場合、「保健師」として在籍することになるが、「看護師」としては臨床のみならず在宅医療の経験がないと厳しい。
15	大学院というより人を採用するのでどちらともいえる。
16	問2について:働きながら学びたい職員がいれば推奨するが、現在の業務内容から考えると申し出る職員はいないと思われる。 問3について:採用する際、出身校をほとんど気にしていない状況です。希望者は人間性を重視しています。
17	様々な分野で求められる看護師の職種になると思いますので多くの方たちが現場で働けることを願っております。
18	私共のところ而言えば、生活の場、豊かな心、自由を制限しない、個人の価値を育めるサポート、障害を有していても自分らしく生きれる事を考え教育や指導、実践できる人たちになって欲しいです。

※上記の18件の回答を得た。

【資料6】近隣の看護系大学院修士課程の学費

大学院	研究科 専攻	課程	所在地	学費(円)				備考
				入学金	授業料	その他	初年度納入金	
帝京科学大学 大学院	医療科学研究科 看護学専攻	修士	東京都 足立区	¥310,000	¥840,000		¥1,150,000	平成32年度
上智大学 大学院	総合人間学研究科 看護学専攻	修士	東京都 新宿区	¥200,000	¥915,000	¥324,400	¥1,439,400	平成31年度
聖路加国際大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 中央区	¥400,000	¥1,200,000	¥150,000	¥1,750,000	平成31年度 修士論文コース
帝京大学 大学院	医療技術学研究科 看護学専攻	修士	東京都 板橋区	¥300,000	¥610,000	¥210,000	¥1,120,000	平成31年度
東京医療保健大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 目黒区	¥500,000	¥1,000,000	¥84,500	¥1,584,500	平成31年度 看護科学コース
東京慈恵医科大学 大学院	医学研究科 看護学専攻	修士	東京都 板橋区	¥200,000	¥800,000	非掲載	¥1,000,000	平成31年度
東京女子医科大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 新宿区	¥300,000	¥900,000	¥300,000	¥1,500,000	平成31年度
東邦大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 大田区	¥100,000	¥700,000	¥300,000	¥1,100,000	平成31年度
日本赤十字看護大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 渋谷区	¥400,000	¥1,200,000	¥300,000	¥1,900,000	平成30年度
武蔵野大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 西東京市	¥250,000	¥850,000	¥262,000	¥1,362,000	平成31年度
杏林大学 大学院	保健学研究科 看護学専攻	修士	東京都 三鷹市	¥250,000	¥800,000	¥201,790	¥1,251,790	平成31年度
東京有明医療大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	東京都 江東区	¥300,000	¥1,000,000	¥200,000	¥1,500,000	平成31年度

※学外出身者の学費

出典:各大学のホームページ(平成31年3月現在)

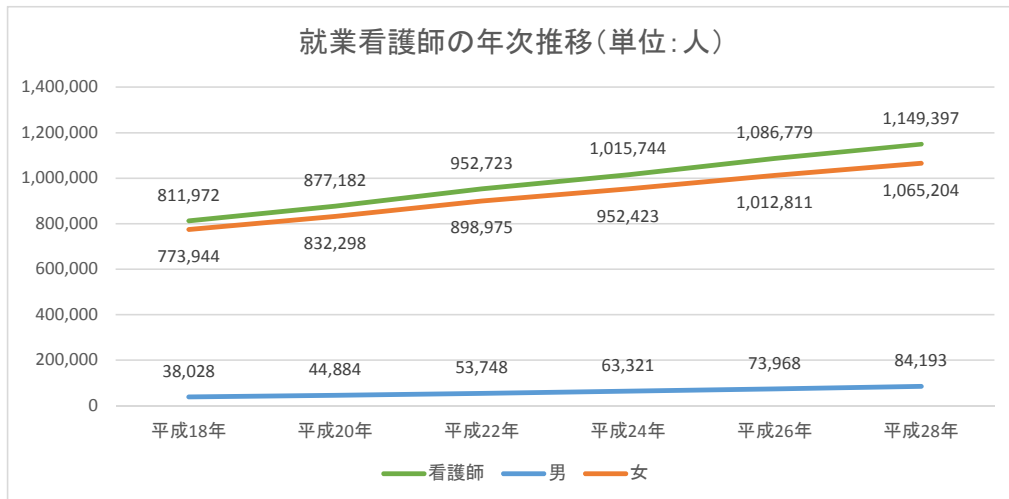
【資料7】 就業看護師の年次推移

単位:人

	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
看護師	811,972	877,182	952,723	1,015,744	1,086,779	1,149,397
男	38,028	44,884	53,748	63,321	73,968	84,193
女	773,944	832,298	898,975	952,423	1,012,811	1,065,204

※各年末現在

出典:厚生労働省「平成28年衛生行政報告例(就業医療関係者の概要)」



【資料8】 都道府県別 人口10万人当りの就業看護師数

都道府県	人数	順位
埼玉県	637	47
千葉県	674	46
神奈川県	687	45
茨城県	687	44
東京都	769	43
愛知県	778	42
栃木県	785	41
宮城県	821	40
大阪府	832	39
岐阜県	834	38
静岡県	841	37
福島県	858	36
三重県	869	35
奈良県	890	34
群馬県	914	33
兵庫県	922	32
山梨県	935	31
滋賀県	945	30
新潟県	960	29
青森県	989	28
山形県	1,017	27
京都府	1,023	26
沖縄県	1,024	25
長野県	1,029	24
広島県	1,033	23
岩手県	1,056	22
和歌山県	1,072	21
秋田県	1,081	20
福井県	1,087	19
福岡県	1,116	18
香川県	1,132	17
北海道	1,151	16
富山県	1,157	15
山口県	1,163	14
徳島県	1,164	13
愛媛県	1,175	12
岡山県	1,178	11
鳥取県	1,185	10
島根県	1,208	9
大分県	1,215	8
石川県	1,229	7
宮崎県	1,231	6
熊本県	1,244	5
長崎県	1,264	4
佐賀県	1,278	3
鹿児島県	1,311	2
高知県	1,409	1

出典：厚生労働省「平成28年衛生行政報告例（就業医療関係者の概要）」「1. 就業保健師・助産師・看護師・准看護師（5）都道府県別にみた人口10万対就業保健師数等」より抜粋